

一般社団法人日本人間工学会第3回理事会 議事録

1. 開催日時：平成22年1月30日(土) 14:00~16:30

2. 開催場所：日本大学工学部駿河台キャンパス5号館2階 524会議室

3. 出席者：

・理事会構成員(25名・定足数13名以上)

(理事)：斉藤進(理事長・学会会議・横幹連・文科省科研費)，青木和夫(副理事長・学会会議・横幹連・人間工学専門家認定機構長・文科省科研費)，大久保堯夫，垣本由紀子(財務)，岸田孝弥，斎藤真(総務)，三林洋介，外山みどり，土屋和夫，富田豊，中野義彦，八田一利(第2期選管)，福田康明，吉武良治(広報・ネットワーク) 【14名】

(理事兼支部長)：横山真太郎(北海道・第51回大会長)，堀江良典(国際・関東)，横森求(東海)，萩原啓(関西) 【4名】

【計：18名】

(欠席者)：阿久津正大(表彰)，酒井一博(横幹連・企業の人間工学教育のあり方検討委員長)，加藤象二郎(編集・横幹連)，平柳要，北村正晴(東北)，大塚彰(中国・四国)，長谷川徹也(九州) 【7名】

・アドバイザー：横井孝志(ISO/TC159 国内対策委員長・人間工学研究プラットフォーム検討委員長)，藤田祐志(人間工学技術戦略委員長)，榎原毅(コース対応型人間工学展開委員長)，河合隆史(第52回大会長候補者)

・幹事：大内啓子(広報・総務)

・事務局：栗田紀子，青木彩

4. 議事概要

理事18名が出席し，定款第37条により理事会が成立していることを確認した．理事長が定款第36条に従い議長となり，議事を進めた．なお，理事現在数は25名であり，理事会が成立する定足数は13名である．

【審議事項】

(1)第1号議案 一般社団法人日本人間工学会第2回理事会議事録(案)について

第2回議事録について議長より諮ったところ，全員異議なく了承され，承認された．

(2)第2号議案 第51回大会について

(2-1)第2-1号議案．学会企画「リデザインセッション」の提案について

「安全人間工学再興」をタイトルとし，開催趣旨およびパネラー等について副理事長より報告があった．本件について議長より諮ったところ，全員異議なく了承され，承認された．

(2-2)第2-2号議案．IEA 会長 Andrew S.Imada 氏を JES 第51回大会へ招待する件について

IEA 会長 Andrew S.Imada 氏を51回大会へ招待し，懇親会と連動する時間帯で講演をお願いする旨，議長から報告がなされた．本件について諮ったところ，全員異議なく了承され，承認された．

(3)第3号議案 人間工学掲載論文のJ-stage公開について - 閲覧制限等

学会誌をJ-Stage上に公開するにあたり、閲覧制限を設けず、機関誌発行とJ-stage公開に意図的な時間差を設けないという編集委員会案が編集委員により報告された。本件について議長より諮ったところ、全員異議なく了承され、承認された。

(4)第4号議案 JES/webリニューアル及びwebコンテンツに関して

リニューアルに際して、支部・部会用サーバを学会サーバ上に提供。支部大会の抄録を学会HP上で公開したい旨、理事対応委員長より報告があった。これら2件について議長より諮ったところ、全員異議なく了解され、承認された。なお、各論については今後検討を行う。

また、webサイトに掲載するための、人間工学を象徴する写真の提供について委員長より依頼があった。

(5)第5号議案 理事会参加交通費の支払いについて

理事会参加交通費を往復分支払うことが可能である旨、財務から報告がなされた。次期会計年度から、交通費を往復分支給することについて議長より諮ったところ、全員異議なく了承され、承認された。

なお、監事より、距離に関わらず全理事に往復分支給(旅費算出方法の明瞭化)および、代議員に対する支給についても検討が必要であるとの指摘があった。その他、宿泊費等を含めた詳細について、今後検討を行い、次回理事会に提出する。

(6)第6号議案 一般社団法人日本人間工学会認定人間工学専門資格制度に関する規則改正案について

本件について議長より諮ったところ、全員異議なく了承され、承認された。なお、気がついた点については、2月5日までに事務局に提出。

(7)第7号議案 第52回大会について

第52回大会の大会長候補者である河合隆史氏(早稲田大学)より、会場・日程等の基本検討案について報告があった。本件について、議長より諮ったところ、全員異議なく了承され、承認された。

なお、日韓ジョイントシンポジウムが日本開催である旨、国際協力委員長より説明があり、会場確保等の検討が要請された。

(8)第8号議案 協賛等の依頼について

9件の協賛等の依頼について議長より諮ったところ、全員異議なく了承され、承認された。

なお、安全工学シンポジウム2010の共催に関して、共催分担金として20,000円を負担する事項について、議長より諮ったところ、全員異議なく了承され、承認された。

【報告事項】

(1)総務報告

(1-1)会勢報告

会員数は2010年12月現在1926名(+39名)、賛助会員数39社40口(-1社、-1口)。

(1-2)「人間工学研究のための倫理指針」の公開

2009年11月16日付で、HPと学会誌上に公開した。

(1-3)安全工学シンポジウム2010実行委員の選出

青木和夫氏を実行委員として推薦した旨、議長より報告があった。

(1-4)平成21年度公開講座について

公開講座の進捗状況について総務より報告。期日は2010年3月23日。

(2)財務報告

平成21年度12月31日実績について、収入・支出ともに、予算額に対してほぼ通常通り、順調に推移している旨、財務担当理事より報告があった。

(3)第50回記念大会から学会への寄付金について

第50回大会における残額1,047,249円をご寄付いただいた旨、議長より報告があった。

(4)藤田祐志氏のIEA役員就任(PSE)について

藤田祐志氏がIEA役員に就任した旨報告があった。任期期間は3年間。なお、IEAからはJESケットプラクティス・タ-ル-スに非常に関心を持たれている旨、藤田氏より報告がなされた。

(5)科学技術振興機構による学会誌電子アーカイブ化と著作権委譲について

現在HP上で公開している著作権委譲告知文を2月発行の学会誌においても掲載する。

(6)科研費補助金分科細目表へ「人間工学」を要望するためのアンケート結果について

アンケート結果の概要が報告された。今後、文科省に対する資料として活用する。

(7)第51回大会準備状況報告

6月19(土)・20(日)に北海道大学で開催。口頭発表とハイブリット発表を実施。ハイブリット発表には各種ポスター賞を新設する。なお学会賞である「優秀研究発表奨励賞」の選考については、口頭発表とハイブリット発表を対象に同賞の「選考及び授与規程」および「細則」に沿って実施する。

(8)担当・委員会報告

(8-1)編集委員会

順調に進捗している旨報告があった。

(8-2)国際協力委員会

藤田氏を JES の国際協力委員にお願いをした。今年の日韓シホシムは 5 月 14 日・15 日にテジョンで行われる。2015 年の IEA 大会はオーストラリアで開催。

(8-3)ISO/159 国内対策委員会

JIS を 2 件審議。また、人間工学分野の JIS 規格の普及を JENC の活動として検討する。来年、ISO 国際会議がある旨報告があった。

(8-4)表彰委員会

功労賞の基準を満たす会員が 45 名。同賞候補者の委員会案を次回理事会において上申予定。

(8-5)日本学術会議担当

安全工学シホシムについて

安全工学シホシムが、来年 40 回記念に当たる。海外から講演者を招くことも検討しているため、講演希望者を募る旨報告があった。

横幹連合について

横幹連合が提出した文科省関連の事業仕分けに関する意見について報告があった。

(8-6)人間工学専門家認定機構

準専門家合格者が 2 名、アシスタント合格者が 6 名との報告があった。

(8-7)安全人間工学委員会

委員会報告が副理事長よりあった。安全部会の設立を検討しており、次回理事会に部会設立申請を行う予定。

(8-8)E-Work 対応型人間工学展開委員会

JES・HP 上にて実施した Web アンケート調査の概要について報告があった。

(8-9)第 2 期選挙管理委員会

選挙規程に基づき、活動を進めている。現在、理事・監事の開票を行い、就任承諾書の発送を行った旨、報告があった。

(9)支部報告

(9-1)北海道支部

11 月 14 日に支部総会を実施。次期支部長に横山真太郎氏が内定した。

(9-2)関東支部

第 39 回関東支部大会を 12 月 5 日・6 日に開催した。参加者 359 名。また、3 月 10 日に見学会(株)日本航空・安全推進本部)を実施する。現在、支部選挙を実施中であり、次回理事会で次期支部長を報告する。

(9-3)東海支部

3 月 13 日に支部総会と特別講演を行う。次期支部長は、支部役員会において内定した。

(9-4)関西支部

12 月 5 日に奈良女子大で支部大会を開催した。3 月 26 日に支部総会を実施する。

(9-5)九州・沖縄支部

12 月 12 日に支部大会を人類働態学会との共催で開催した。総会において、役員任期と次期支部長が決定した。次期支部長は長谷川徹也氏。

(10)その他

・(財)自賠償保険・共催紛争処理機構から推薦依頼のあった紛争処理委員2名を理事会として承認した。

5.閉会

以上の議事を終え、16時30分に閉会した。

上記の決議を明確にするため、議長、議事録署名人がこれに記名押印する。

平成22年1月30日

議 長 齊 藤 進

議事録署名人 三 林 洋 介

間 壁 治 子